

(19) 【発行国】日本国特許庁(JP)  
(45) 【発行日】平成20年1月7日(2008.1.7)  
(12) 【公報種別】意匠公報(S)  
(11) 【登録番号】意匠登録第1318667号(D1318667)  
(24) 【登録日】平成19年11月30日(2007.11.30)  
(54) 【意匠に係る物品】装身用鎖止め具  
(52) 【意匠分類】B3-1900  
(51) 【国際意匠分類(参考)】11-01、11-02、11-03  
(21) 【出願番号】意願2007-3943(D2007-3943)  
(22) 【出願日】平成19年2月19日(2007.2.19)

(72) 【創作者】

【氏名】堀 泰典

【住所又は居所】三重県四日市市泊町7番6号

(72) 【創作者】

【氏名】堀 元英

【住所又は居所】三重県四日市市泊町7番6号

(73) 【意匠権者】

【識別番号】593152384

【氏名又は名称】堀 泰典

【住所又は居所】三重県四日市市泊町7番6号

(73) 【意匠権者】

【識別番号】502304529

【氏名又は名称】堀 元英

【住所又は居所】三重県四日市市泊町7番6号

(74) 【代理人】

【識別番号】100108280

【弁理士】

【氏名又は名称】小林 洋平

【審査官】富永 亘

(56) 【参考文献】Jewelers' CIRCULAR-KEYSTONE、5号、172巻、8頁、(特許庁意匠課公知資料番号HB13009051) GEMS & FINDINGS、304頁、(特許庁意匠課公知資料番号HD13036343) GEMS & FINDINGS、304頁、(特許庁意匠課公知資料番号HD13036350)

(55) 【意匠に係る物品の説明】当該意匠は、装身用鎖の一端部に取り付けられて、鎖の他端側を挿通させて固定する装身用鎖止め具である。

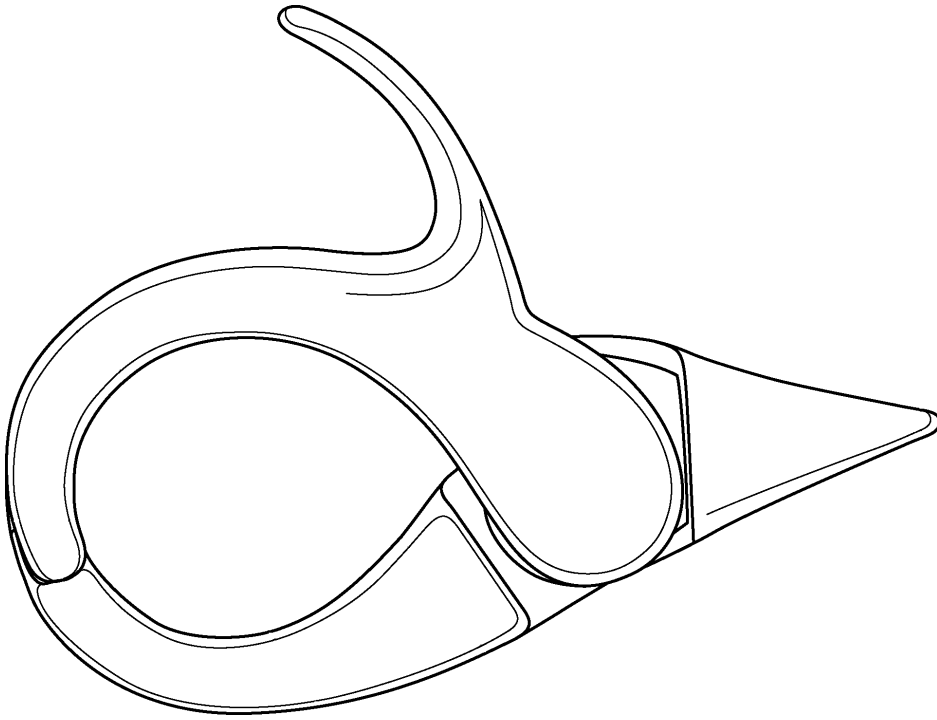
(55) 【意匠の説明】当該意匠は、2部材から構成されており、その一端側(正面図において、中央右寄りの位置)が互いに回転可能に組み付けられている。両部材は、バネ力によって常には自由端部(正面図において、左側)が互いに閉じる方向に付勢されている。正面図において、下端右寄りの位置と、左端位置(自由端部)との2箇所に装身用鎖を挿通可能な孔部が設けられている。自由端部を開放した状態(参考図1及び参考図2の状態)で、装身用鎖を下端側の孔部に挿通し、両自由端の間に配置した後に、自由端を閉じると、装身用鎖が抜け止めされる(参考図3の状態)。

【図面】

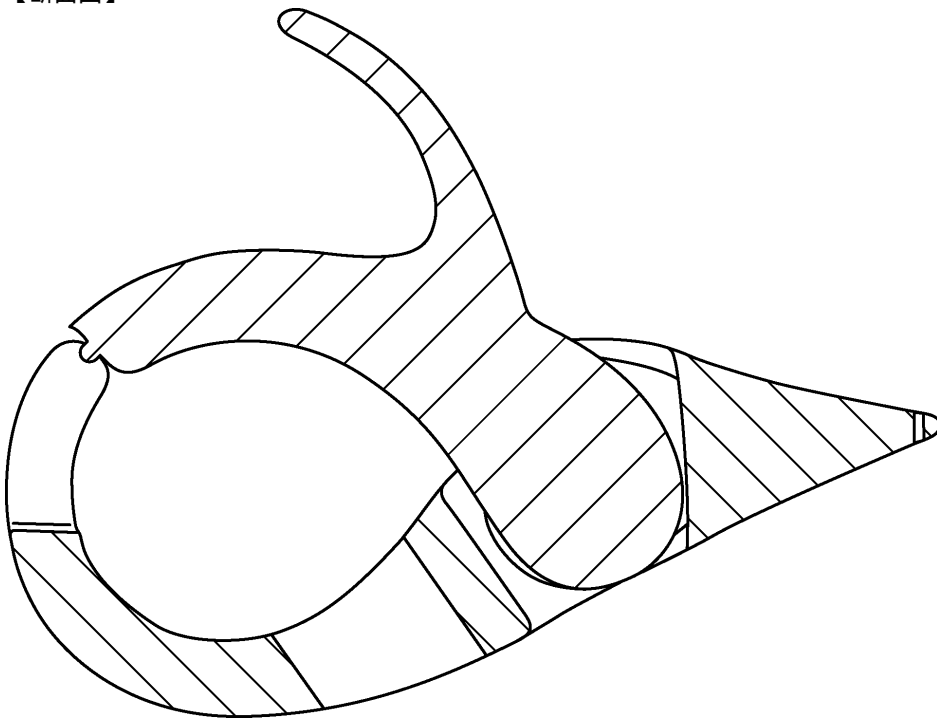
【正面図】

(2)

意匠登録1318667



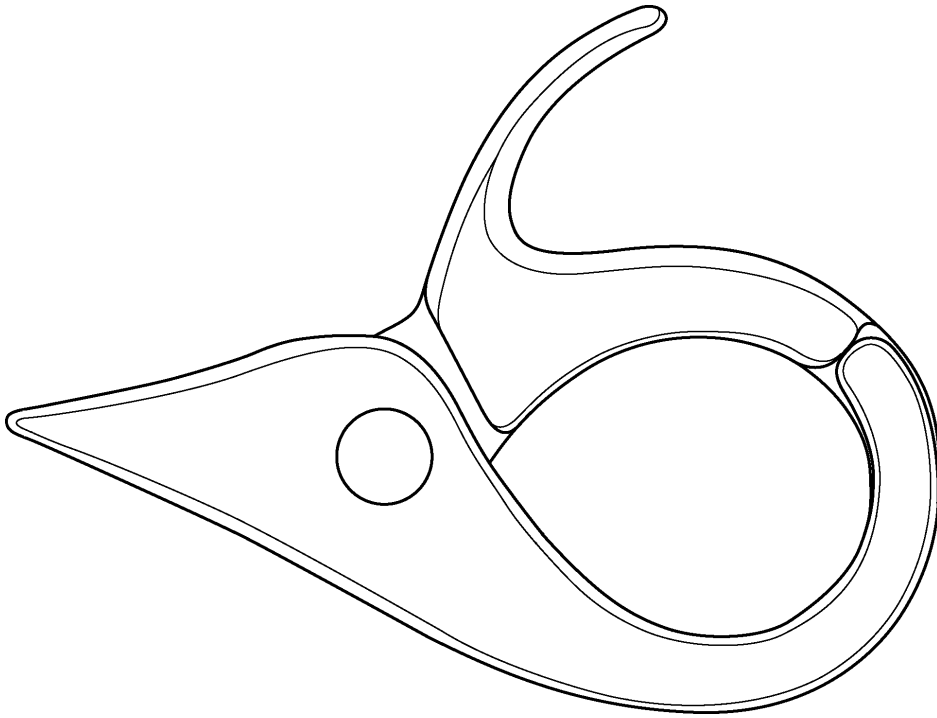
【断面図】



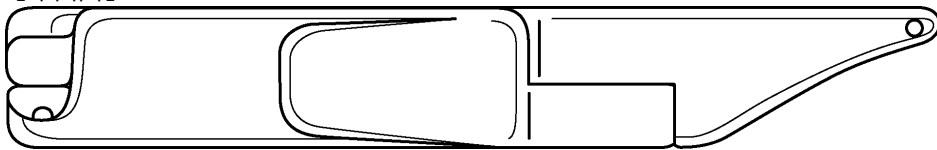
【背面図】

(3)

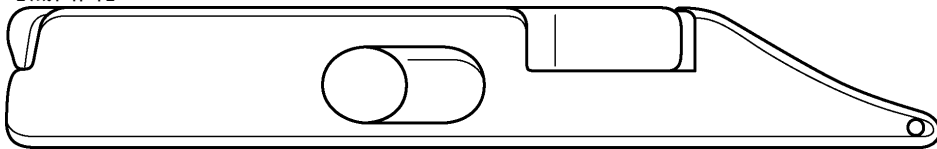
意匠登録1318667



【平面図】



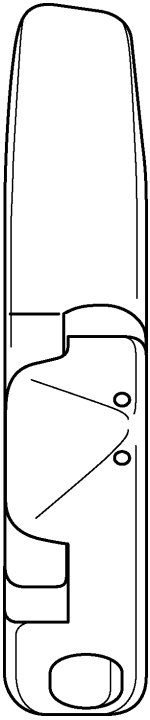
【底面図】



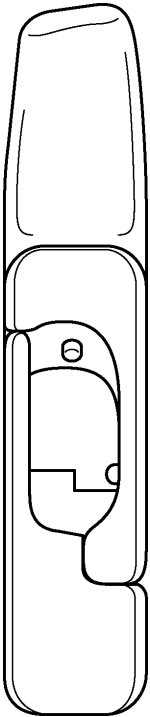
【右側面図】

(4)

意匠登録1318667



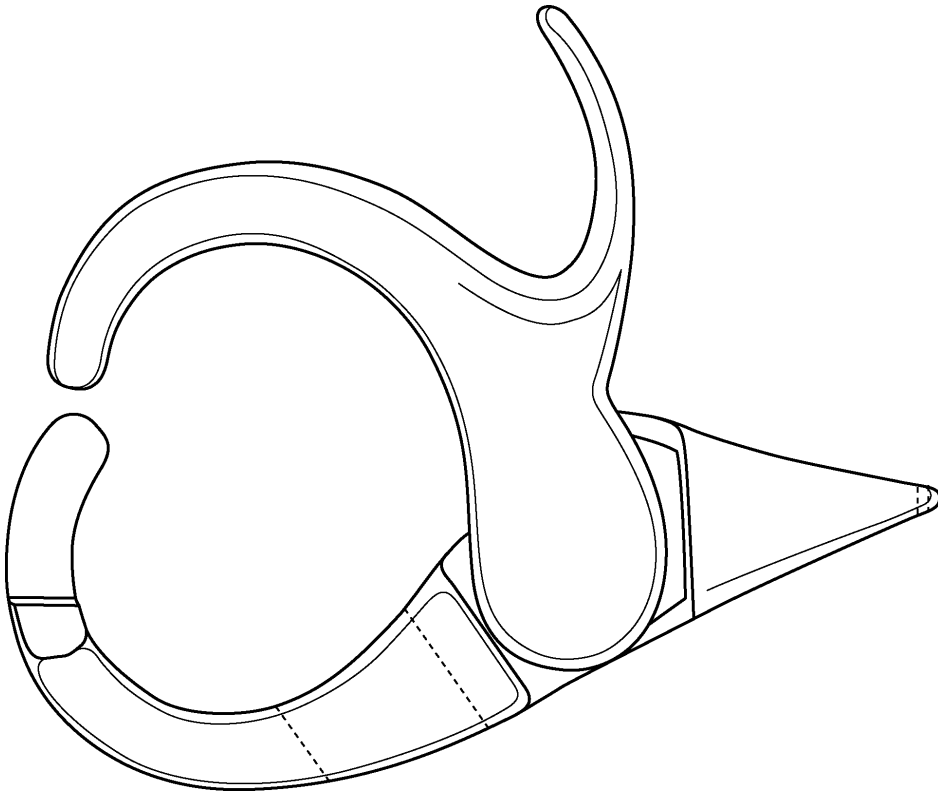
【左側面図】



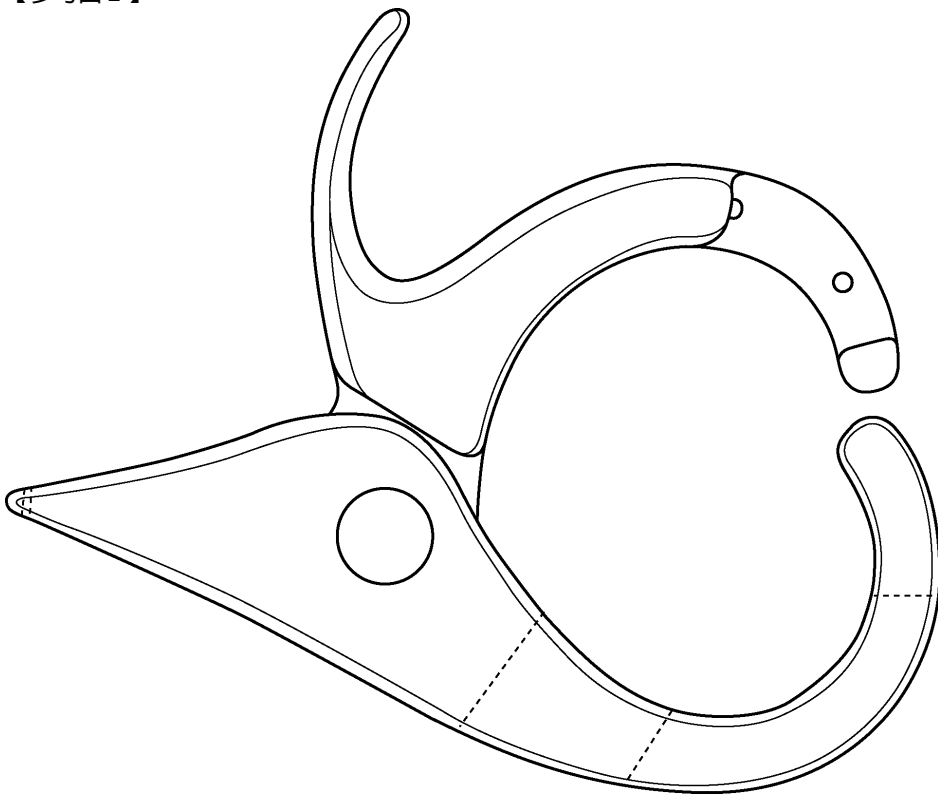
【参考図1】

(5)

意匠登録1318667



【参考図2】



【参考図3】

(6)

意匠登録1318667

